



Information Attendant / Ganymede with File Search

導入マニュアル

2018 年 04 月 02 日

Ver 1.00

FCS – Techno

お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

目次

改訂履歴	i
目次.....	ii
1. 初めに.....	3
1.1. 本書の目的と対象読者	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について.....	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境.....	3
2. Ganymede with File Search の導入に当たっての事前確認.....	4
2.1. 導入後の IIS の設定状況	4
2.2. 導入モジュールの確認	4
2.3. IIS の導入が事前に行われている場合	5
3. 導入の実行	6
3.1. 説明ファイルの表示.....	6
3.2. セットアップウィザード	7
3.3. 使用許諾契約書	7
3.4. 共通グループへの登録	8
3.5. プログラムメニュー／ショートカットの登録.....	8
3.6. インストール情報	9
4. 導入作業の処理状況.....	10
4.1. インストール開始画面	10
4.2. GFS ベース環境の確認と構築.....	11
4.3. IIS のコンポーネントの確認と導入	11
4.4. GFS の導入状態の確認	12
4.5. インストールファイルのコピー	12
4.6. プログラムの稼働環境の構築	13
4.7. ショートカット情報の登録.....	13
5. クライアントブラウザからの接続確認.....	14
5.1. 匿名認証 Web サイトへの検証接続.....	14
6. 製品の削除	15
6.1. アンインストールプログラム	15

1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対して本ソフトウェアの導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「**Windows Server 役割の概要**」をご理解されているユーザー様の導入支援を目的として記載しております。

- ・ Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- ・ Windows IIS に関してご理解されている。
- ・ Web サーバーの役割に関してご理解されている。
- ・ IIS における認証方法の違いをご理解されている。
- ・ ネットワーク環境における IIS への接続環境の構成状況をご理解されている。
- ・ Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている。

1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- ・ CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- ・ OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- ・ メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- ・ HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

2. Ganymede with File Search の導入に当たっての事前確認

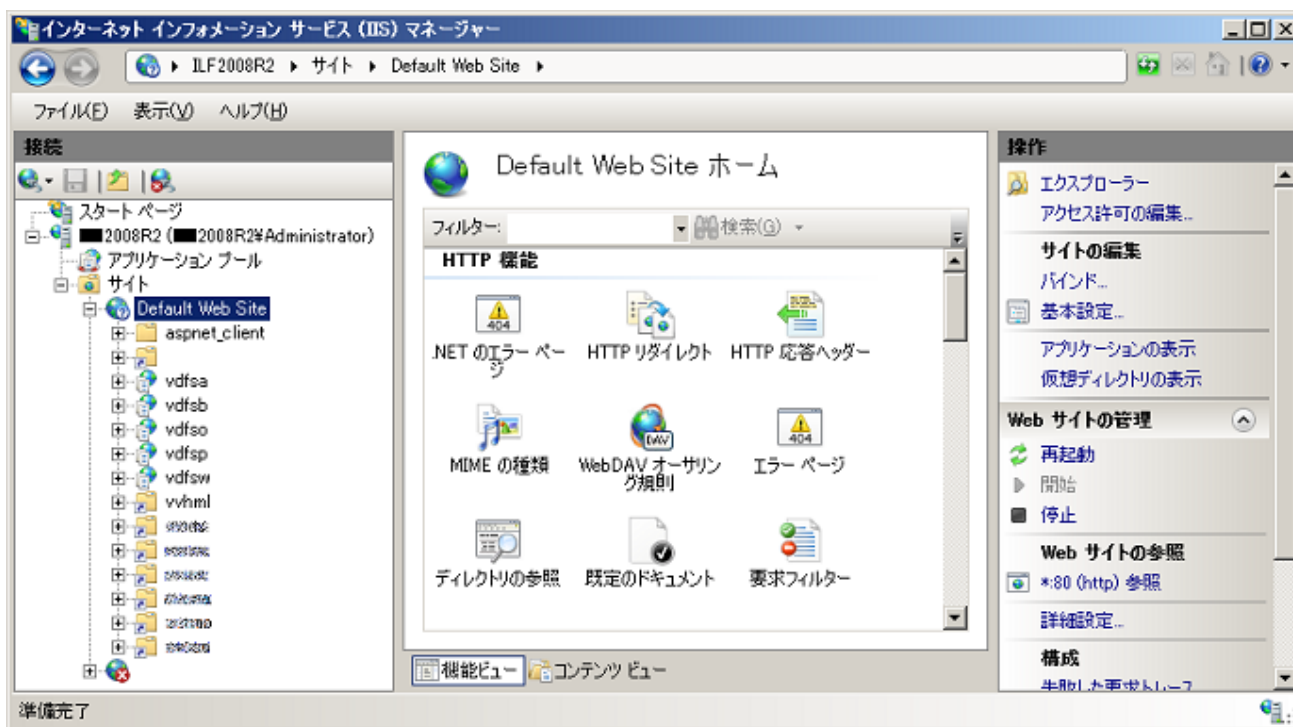
Ganymede with File Search は、IIS を占有して稼働します。他の Web サーバーシステムとの併用運用は想定しておりませんので、他の Web システムを検知した場合は導入処理を中止します。

尚、事前の IIS の導入は不要です。IIS の導入が行なわれていない場合は IIS の導入を行います。

デフォルトの導入先 Web サイトは「Default Web Site」になります。

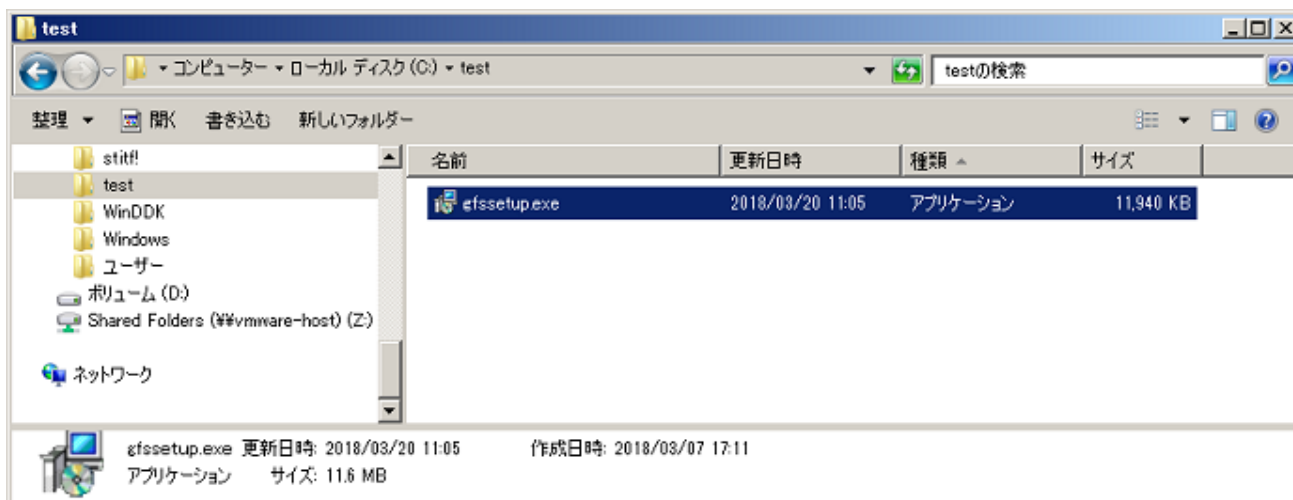
2.1. 導入後の IIS の設定状況

正常に導入を終えた場合は下記内容になるかと思います。



2.2. 導入モジュールの確認

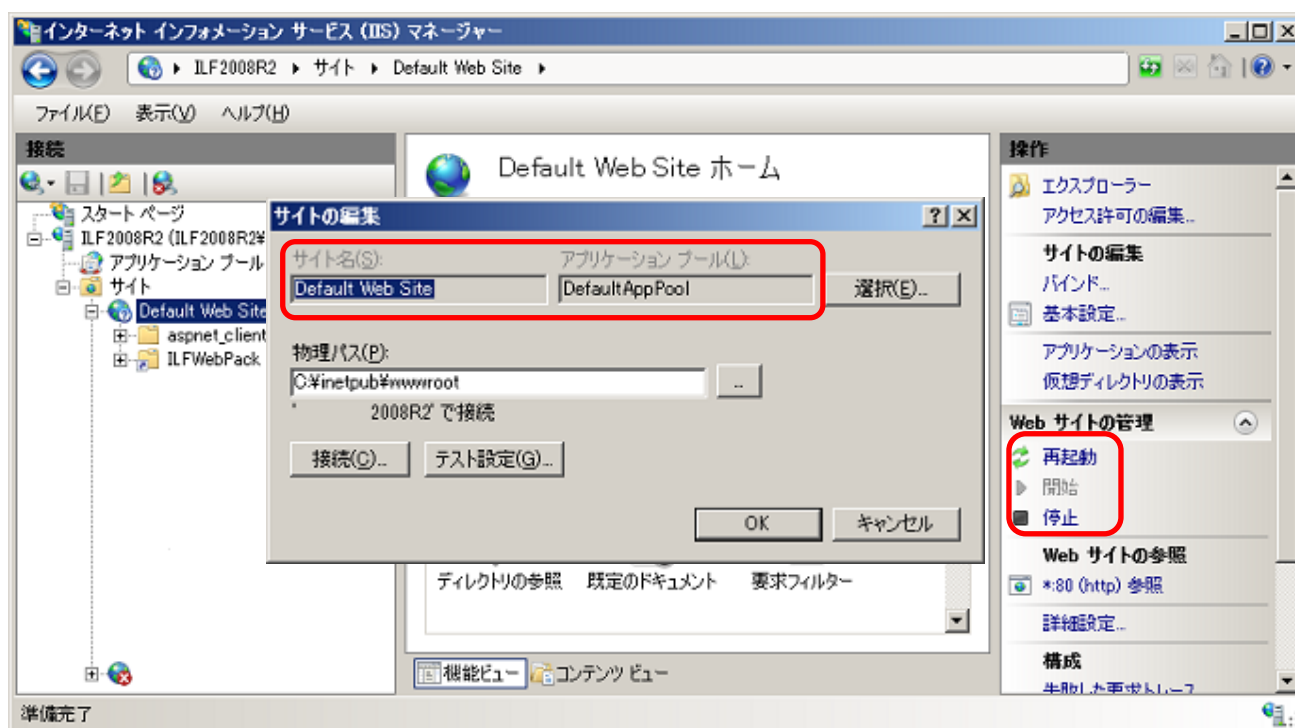
Ganymede with File Search の導入モジュールは、「gfssetup.exe」になります。



2.3. IIS の導入が事前に行われている場合

IIS の事前導入が行なわれている場合は、「Default Web Site」は開始状態である必要があります。

またアプリケーションプールは、「DefaultAppPool」を対象とします。



【Default Web Site】

- ・ 開始状態である事を確認して下さい。
- ・ 自動開始の構成が有効である必要があります
- ・ 接続ユーザーとして「**特定ユーザー**」の指定は行わないで下さい。
- ・ アプリケーションプールの割り当ては「**DefaultAppPool**」の必要があります。
- ・ 登録済みのアプリケーションが存在した場合、導入を中止します。
- ・ Ganymede with File Search 導入後に「**物理パス**」の変更は行わないで下さい。

【アプリケーションプール】

- ・ 開始状態である事を確認して下さい。
- ・ 自動開始の構成が有効である必要があります。
- ・ 「**DefaultAppPool**」以外のアプリケーションプールの登録が有る場合、導入を中止します。
- ・ 「**32 ビットアプリケーション**」が無効の場合、「**有効**」に切り換えます。
- ・ アプリケーションプール ID ビルトインアカウントは、「**NetworkService**」の割り当てにして下さい。
- ・ デフォルト設定での運用をお願いします。

3. 導入の実行

IIS が未導入の場合は IIS の導入を実施します。また、Ganymede with File Search の稼働に必要とするコンポーネントが未導入の場合は、必要とするコンポーネントの差分導入を実施します。

IIS の導入には「Windows 管理ツール」を用いて実施します。処理の開始後に中止するのは難しい状況となりますので、導入途中で中止するのは避けて下さい。

「gfssetup.exe」を実行することで導入作業が開始されます。尚、導入作業中は一時的に「IIS の停止」を実施しますので、Web システムへのアクセスは行わないで下さい。

3.1. 説明ファイルの表示



導入開始と同時に Ganymede with File Search に関する説明文の表示を行います。

本説明文を閉じるまでは次の導入作業を開始しませんので、内容を確認のうえ閉じて下さい。

本ファイルは導入フォルダに保存されますので本ファイルの保存処理は不要です。

3.2. セットアップウィザード



導入ソフトウェアの初期表示画面が上記画面となります。

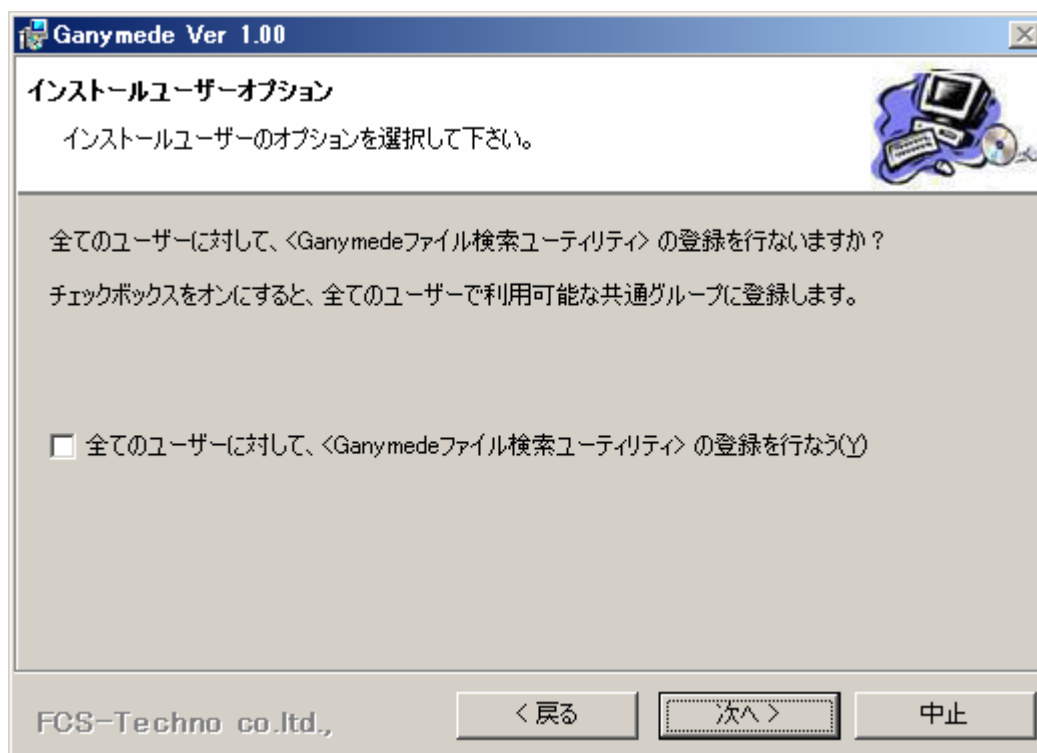
3.3. 使用許諾契約書



使用許諾に関する条項の表示を行います。

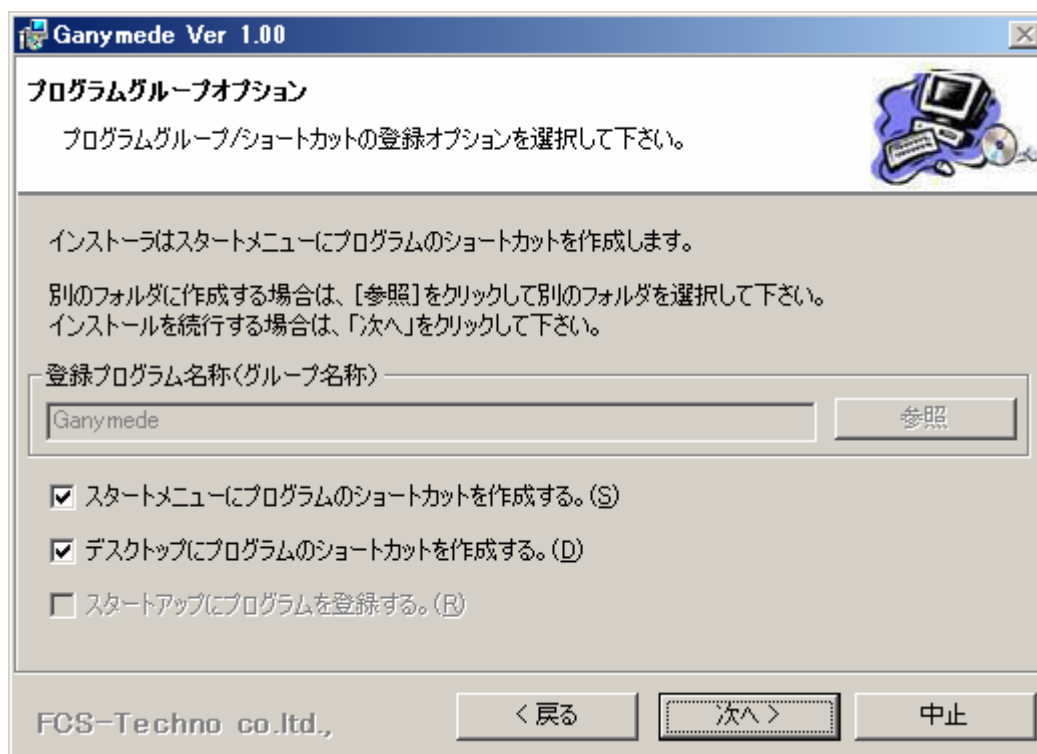
全ての条項をお読み頂く様お願いします。

3.4. 共通グループへの登録



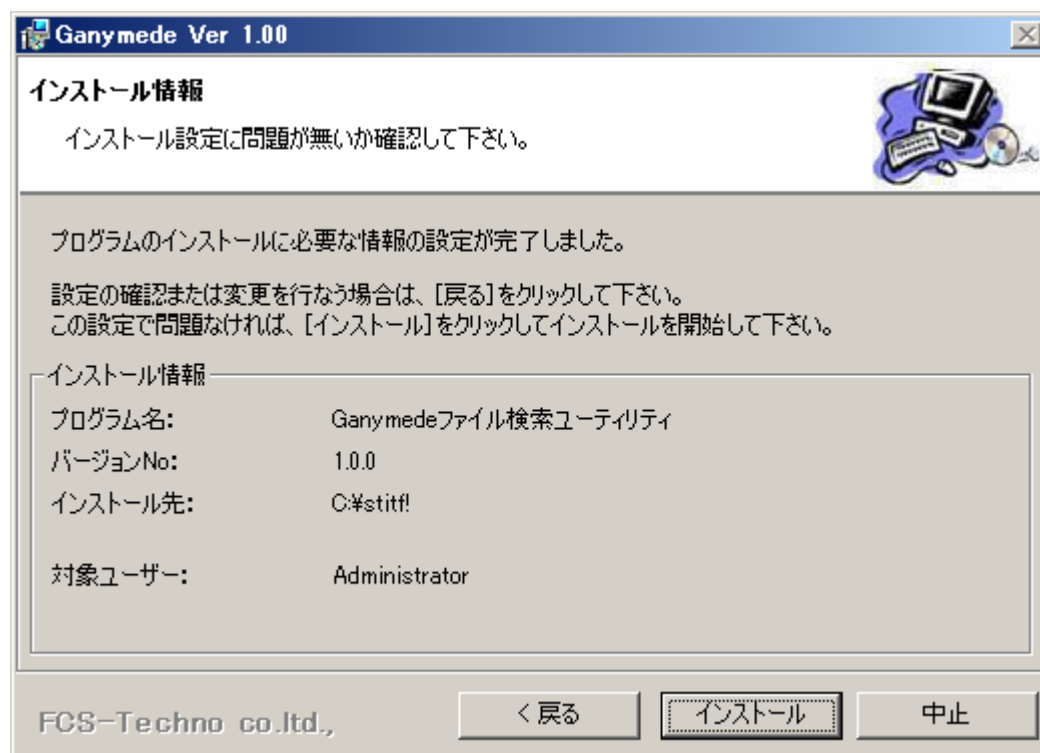
本製品の導入時に、登録済みのローカルユーザーにアクセスを許可する場合はチェックして下さい。

3.5. プログラムメニュー／ショートカットの登録



ショートカット登録に関する設定を行います。

3.6. インストール情報



インストールを実行する場合は、「インストール」ボタンをクリックして下さい。尚、IIS を含めて Web サービスの提供に必要となるコンポーネントの導入を行う場合もありますので、インストール開始後は導入処理の中断は行わないで下さい。

【IIS コンポーネント】

- IIS の HTTP 関連のベース環境の導入を行います。
- クライアントブラウザからの接続時認証に関するコンポーネントの導入を行います。
- ASP.NET 関連のコンポーネントの導入を行います。
- ISAPI 関連のコンポーネントの導入を行います。
- CGI 関連のコンポーネントの導入を行います。
- Log 関連のコンポーネントの導入を行います。

【.NET Framework コンポーネント】

- .NET Framework 3.5 関連のコンポーネントの導入を行います。
- .NET Framework 4.5 関連のコンポーネントの導入を行います。

【IIS 仮想環境】

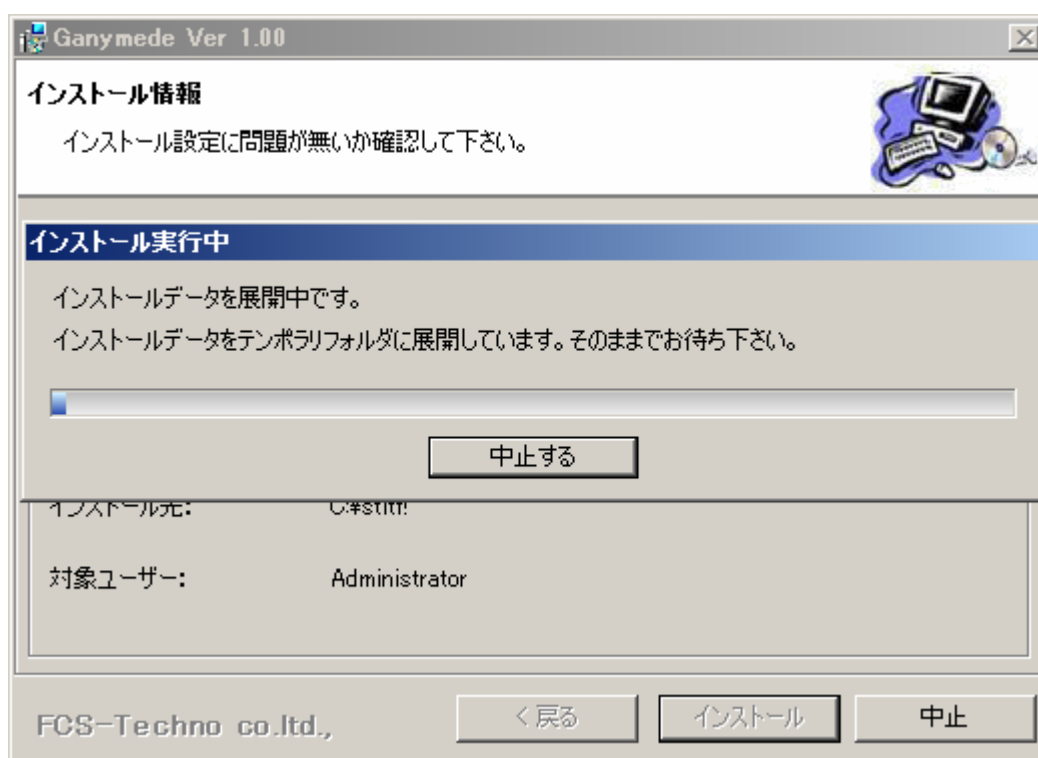
- Ganymede with File Search 専用のアプリケーションプールの作成。
- Ganymede with File Search 専用のアプリケーションの作成。
- Ganymede with File Search 専用の仮想フォルダの作成。
- Ganymede with File Search 専用の環境変数の登録。

4. 導入作業の処理状況

インストールファイルのワークフォルダへの展開、IIS の確認および構築、稼働環境の構築およびファイルのコピー等を順に実行します。また、コアエンジンのサービスへの登録処理等も行います。

本処理における IIS の導入および環境の構築には、「Windows 管理ツール」を利用します。導入途中での中断処理は不完全な状態での中断となりますので、導入作業は「最後まで」行って下さい。

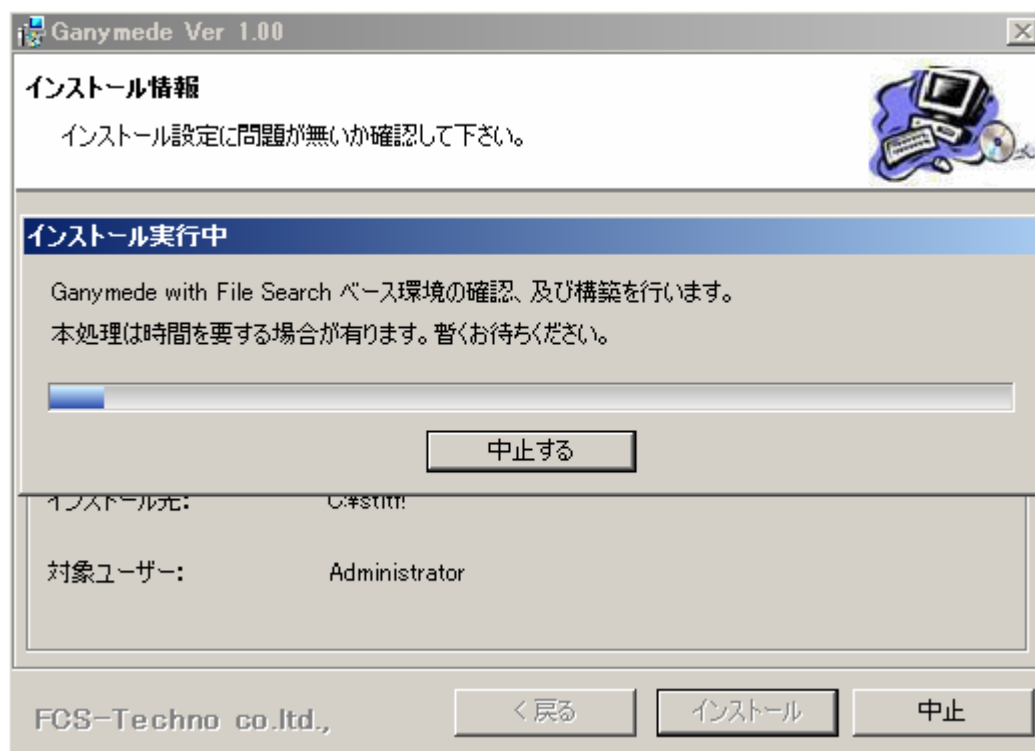
4.1. インストール開始画面



インストールファイルをワークフォルダに展開します。尚、ワークフォルダに展開したファイル群は導入処理の終了時のクリーンアップ処理時に全て削除します。

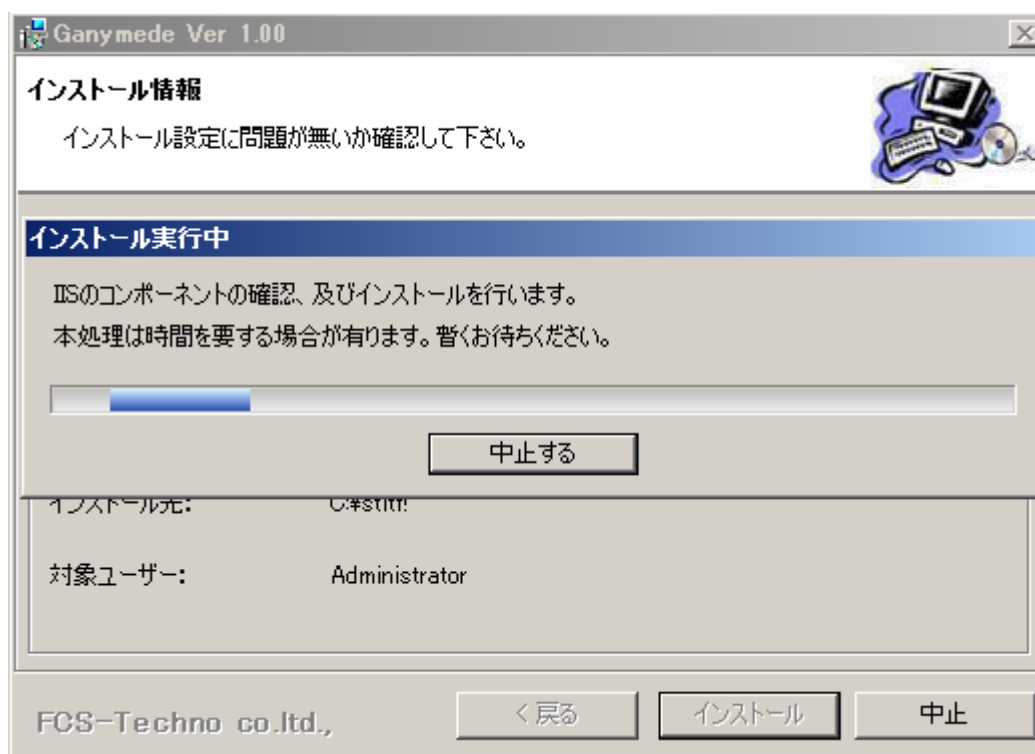
ワークフォルダ上に不要なファイルを残すことはありません。

4. 2. GFS ベース環境の確認と構築



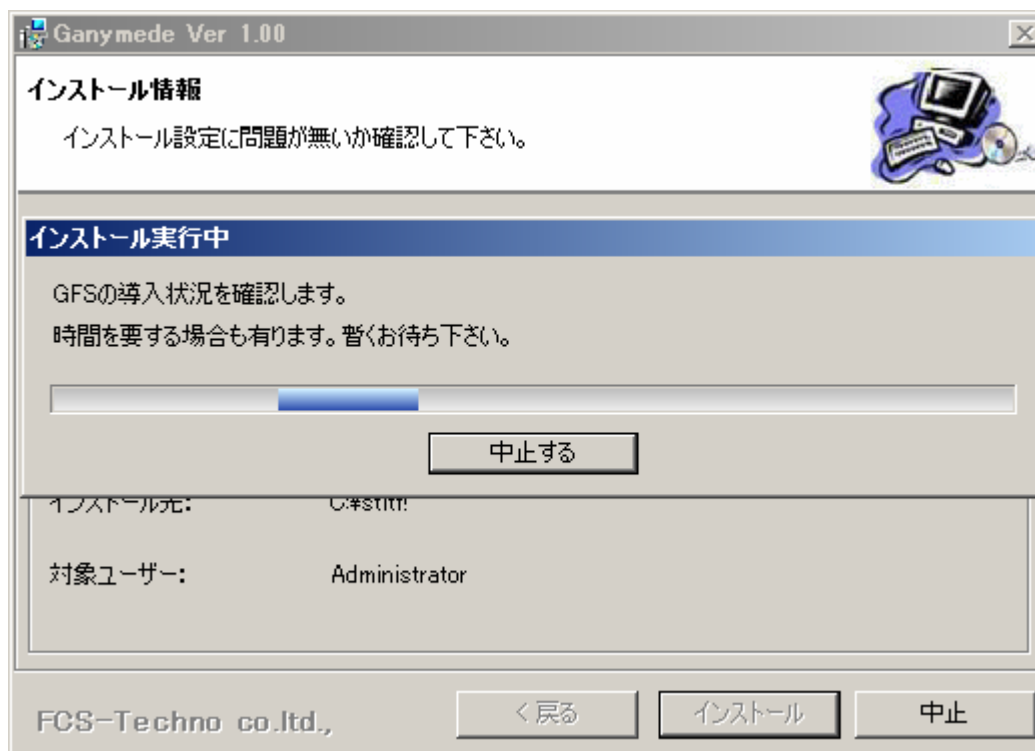
GFS の稼働環境の導入状況と、未導入の場合のベースフォルダの作成を行います。

4. 3. IIS のコンポーネントの確認と導入



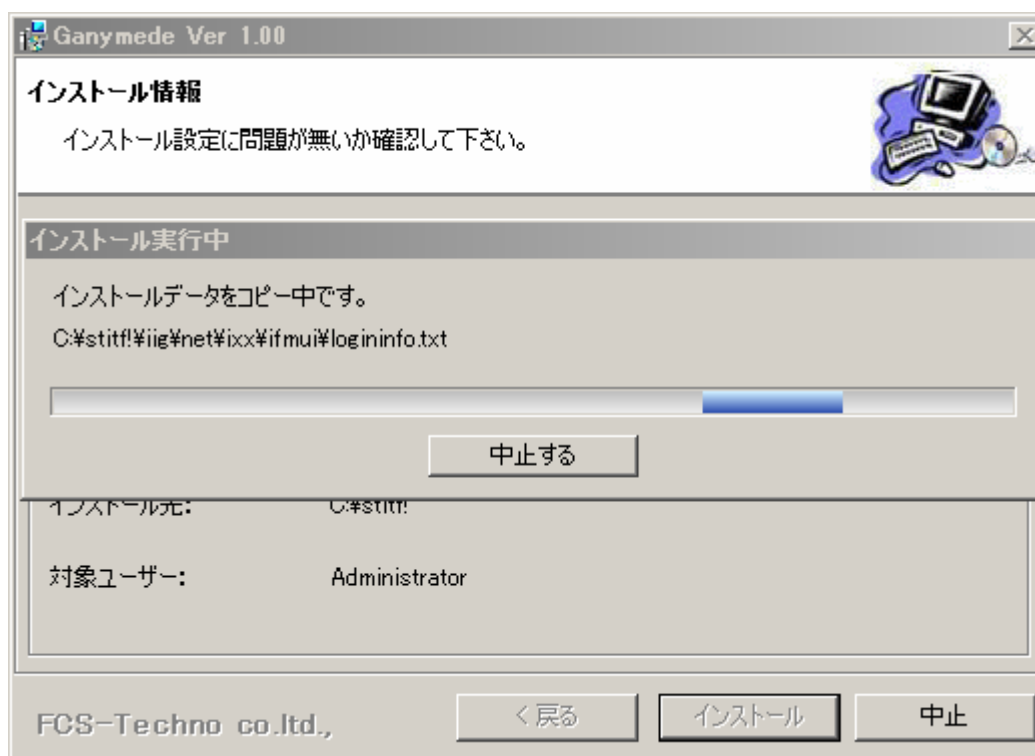
IIS の導入状況の確認と、未導入の場合の IIS の導入処理を行います。差分導入を行う場合もあります。尚、本処理には数十分要する場合がありますので、導入が完了するのをお待ち下さい。

4.4. GFS の導入状態の確認



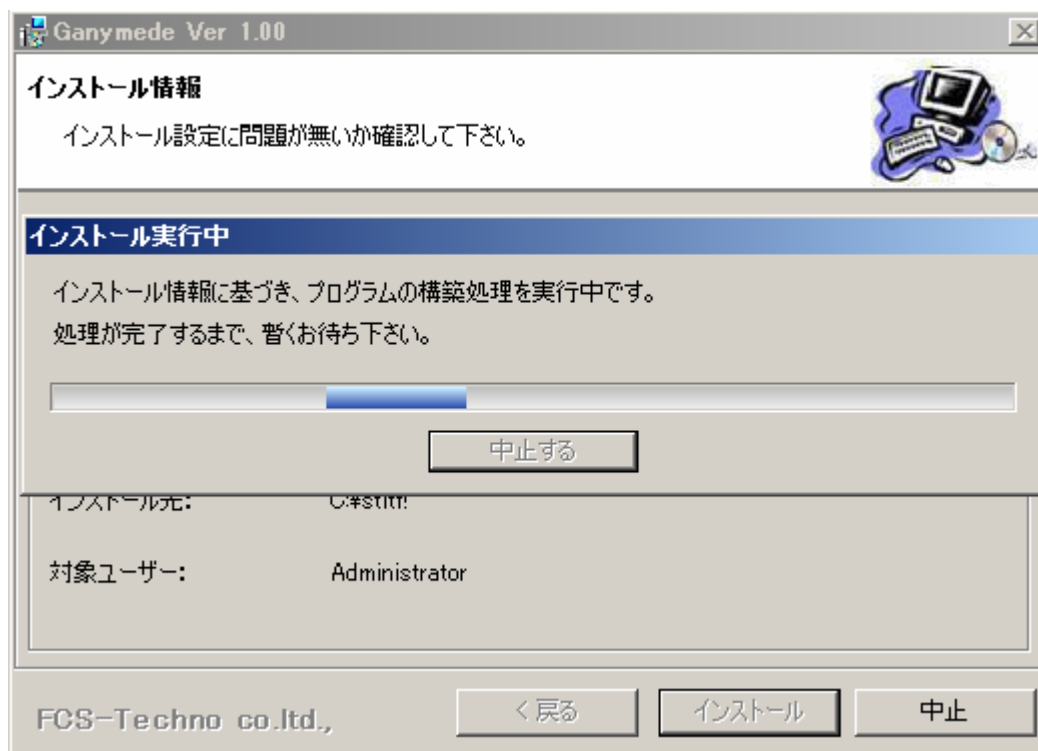
導入済みの GFS を検知した場合、以前の GFS の環境を一旦削除します。但し、GFS 導入後に設定した各種の稼働に関する設定ファイルは設定状態を保持します。

4.5. インストールファイルのコピー



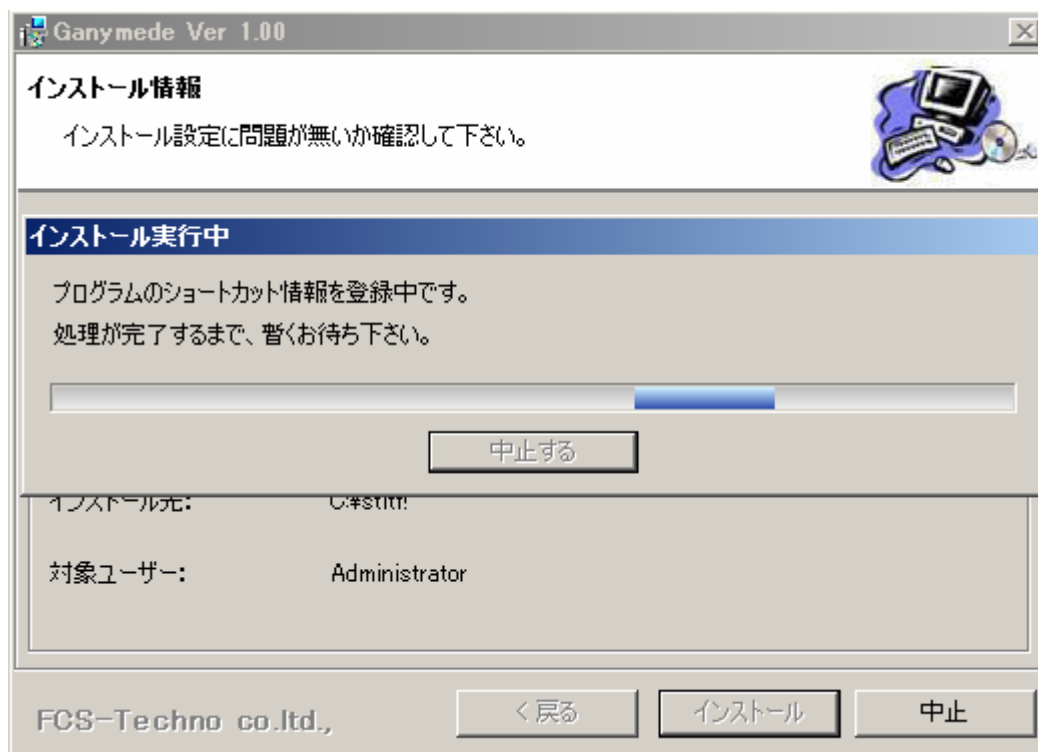
ワークフォルダより、導入ファイルを導入先フォルダにコピーします。

4.6. プログラムの稼働環境の構築



GFS のコアエンジンを含む全ての環境の構築および更新処理を行います。

4.7. ショートカット情報の登録



サーバー側の GFS マネージャー画面等のショートカット登録を行います。

5. クライアントブラウザからの接続確認

本製品の導入が正常に行えた場合、「IIS」は自動開始しますのでサーバーの再起動は必要ありません。

また、サーバー内に存在するファイル検索処理も自動で開始します。

5.1. 匿名認証 Web サイトへの検証接続



サイト URL 「<http://ホスト名/vdfs/>」 への接続を試みます。匿名認証での接続を行いますので上記の画面が表示されるかと思います。

【匿名認証】

- ・サイト URL 「<http://ホスト名/vdfs/>」 が匿名認証サイトになります。

【基本認証】

- ・サイト URL 「<http://ホスト名/vdfs/>」 が基本認証サイトになります。

【Windows 認証】

- ・サイト URL 「<http://ホスト名/vdfs/>」 が Windows 認証サイトになります。

6. 製品の削除

プログラムの機能から本製品の削除を行います。手動操作での導入フォルダの削除は行わないで下さい。
尚、「IIS の削除」は行いませんので IIS の削除を行う場合は、「役割の削除」から行って下さい。

6.1. アンインストールプログラム

アンインストールプログラム名は「Document Search Utility with Ganymede 」となります。
該当のプログラムをクリックして製品の削除を実施して下さい。



製品の削除を実施する場合は、「開始」ボタンをクリックして下さい。削除処理を実施します。